



「ザラピカ」と「ミラクルエンボス」

主な事業内容

箔押、浮出、PADなど  
特殊印刷用の金属版製造

主な取引先(納入先)

印刷会社、パッケージ・ラベル・  
カレンダーなどのメーカー

主な製品

箔押用金属版、浮出用金属版、  
PAD印刷用金属版

納期相談  
メイドイン  
ジャパン  
試作可  
小ロット

# 株式会社 Sakae Plus 希少技術で特殊印刷を 支える金属凸版メーカー

**業務内容**  
特殊印刷の多彩な表現を  
演出する金属凸版

箔押などの特殊印刷用の金属凸版を製造する Sakae Plus。インキでは表現できない光沢や立体感を出し、高級感を感じさせる技法を実現している。外重聖長社長の父・榮氏が昭和45年4月に創業、50年1月にサカエ彫巧社として法人化した。当初は手彫り(彫金)で版を作っていたが、現在は薬品で金属を溶かすエッチングが中心だ。版に使う金属は銅やマグネシウム、鉄など用途に応じて使い分けている。平成29年に本社移転したことを機に、現社名に変更した。「創業者の名前を残すとともに、顧客と従業員、地域のプラスになる」という外重社長の思いが込められている。

**強み**  
希少価値の高い  
パッケージ製版技術

箔押や浮出用の版、インキを使い曲面にも印刷することができるPAD版などの製造を主に手がける。印刷製版業は全国に20社もない中で、パッケージ向けの版を作るのは5社ほどしかない。そのため全国から日々依頼が来る。希少価値の高い技術で、外重

社長は「需要があっても供給が少なく、伝統工芸のようなもの」と例える。化粧品ボトルなど曲面にも対応し、トレーディングカードやカレンダー、名刺などでも華やかさや高級感を演出するほか、食品の期限印字などにも使われている。外重社長は「社名が表に出ることはないが、当社の版を使った商品はいたるところにある」と胸を張る。

**技術開発**  
自社開発の新技术で  
さらなる表現の豊かさを

「顧客の要望を基に、より豊かな表現をめざすことで新技术が生まれた」と外重社長は力を込める。従来の箔押では、艶のある部分とない部分をそれぞれ表現するためには2種類の版が必要だったが、1種類の版で両方表現できる「ザラピカ」を開発。光沢の違いで、アクセントのある複雑な模様のデザインを可能にした。また、実際に絵柄を浮き出すエンボスと違い、絵柄の中にある無数の線の幅を変え、平面でも浮き出したように表現できる「ミラクルエンボス」も開発。既存の箔押機で立体的な表現ができるだけでなく、平面のため傷がつきにくい利点もある。高級感と機能性を両立したい顧客に採用されている。

社長あいさつ



代表取締役  
外重 聖長さん

全国でも数少ない、特殊印刷用の金属凸版メーカーです。これまでに築き上げてきた匠の技をどうすれば喜ばれる製品やサービスに展開できるか、現代風にアレンジできるよう創意工夫を重ねてきました。製造と営業が一体となって情報を共有し、高度な要望にも迅速に対応します。

主な保有設備

- エッチング機(マグネシウム専用機 520mm×670mm、銅専用機650mm×500mm) キムラエッチング製 11台
- 汎用フライス機 春日製作所製 2台
- 露光焼き付け機 キムラエッチング製 3台
- イメージセッター SCREEN製 2台
- サンドブラスト機 不二製作所製 1台

大阪 03

住所 / 〒536-0025  
大阪市城東区  
森之宮2-2-14

TEL / 06-6968-2271

FAX / 06-6963-1014

創業 / 昭和45年4月

設立 / 昭和50年1月

資本金 / 2,500万円

従業員 / 31名



銅版のエッチング加工作業



銅版による箔押加工の例



<https://www.sakae-takumi.com/>